

国際先導研究 審査結果の所見

課題番号	22K21351
研究課題名	睡眠の謎に挑む：睡眠神経科学者のグローバルネットワーク構築
研究代表者	柳沢 正史
研究期間	令和4(2022)年度～令和10(2028)年度
科学研究費委員会 国際科学研究費第二部会 における所見	<p>【研究の概要】</p> <p>本研究課題は、睡眠の存在意義とその制御機構の全容を明らかにすることを目的としている。筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS）を中心に、すでに構築してきた海外サテライトの機関とともに最先端の研究技術を用いて睡眠に関わる分子から回路を更に明らかにし、睡眠の操作を試みる計画である。さらに、海外サテライト機関へのポスドクの派遣、帰国後の継続雇用を通して人材育成を図る。</p> <p>【学術的意義、期待される成果】</p> <p>「睡眠の謎」という根源的な問いに迫る本研究の意義は大きい。既にIIISをベースに睡眠研究で世界を先導する業績をあげており、四つの研究計画はその分野で高い研究実績を有している研究者が参画し、海外のパートナーとも密に連携がとれているため、今後の成果が期待できる。</p> <p>人材育成に関しては、すでにIIISの研究環境が整っていることに加え、優れた若手研究者には、帰国後の継続的な雇用など、筑波大学のシステムを用いて自立支援にも十分配慮している点が評価に値する。</p>